

男たち (1950)

THE MEN

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 85分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

赤狩りで最も大勢の同朋を“売った”ことで知られる「真昼の決闘」の脚本家フォアマンが原作も手がけた、真摯な戦後秘話—といった作品で、ブランドが銀幕デビューを飾った、S・クレイマー製作の真面目な映画である。戦場で被弾し、下半身不随で帰国した銀星賞の英雄、中尉ケンは、同じような患者を收容する施設に入り、最初、絶望から全くみなと打ち解けないが、やがて、恋人エレン（ライト）の励ましで苛酷なりハビリに挑み、車椅子生活に入る。そして、性的な心配を抱えて彼女と結婚するのだが、やはり、自分を憐れみの目で見えるエレンが耐えきれず、自暴自棄となり施設に戻る。が、担当医師ブロックに強く諭され、自身の運転で彼女のもとへ帰っていく。過去に同じ症状の妻を治療法の不備で亡くしているブロック（E・スローン）をはじめ、主人公のリハビリのパートナーになる陽気なヒスパニックのエンジェル（後遺症で死ぬ）、詩や小説の一節をいつもそらんじるインテリの大尉ノーム（悪い女に騙されてしまう）等、脇の人物の描写を的確に重ね作品に厚みを持たせる、ソリッドなジンネマン演出は地味ながらさすがで、脊髄損傷兵という大戦自体の古傷を冷静に直視している。若々しいブランドは思いの外素直な演技で、性的不能というデリケートな部分の表現にもうまく対処してみせた。

【クレジット】

監督	フレッド・ジンネマン	Fred Zinnemann
製作	スタンリー・クレイマー	Stanley Kramer
原作	カール・フォアマン	Carl Foreman
脚本	カール・フォアマン	Carl Foreman
撮影	ロバート・デ・グラス	Robert De Grasse
出演	マーロン・ブランド	Marlon Brando
	テレサ・ライト	Teresa Wright
	ジャック・ウェッブ	Jack Webb
	エヴェレット・スローン	Everett Sloane